

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成28年10月13日 (2016.10.13)

【公開番号】特開2015-49123(P2015-49123A)

【公開日】平成27年3月16日 (2015.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-017

【出願番号】特願2013-180650(P2013-180650)

【国際特許分類】

G 0 1 T 1/20 (2006.01)

G 0 1 T 1/161 (2006.01)

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【F I】

G 0 1 T 1/20 L

G 0 1 T 1/20 E

G 0 1 T 1/20 G

G 0 1 T 1/20 D

G 0 1 T 1/161 C

A 6 1 B 6/03 3 2 0 R

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月24日 (2016.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

X 線により発光するシンチレータアレイと、前記シンチレータアレイが発生した光を電気信号に変換するフォトダイオードアレイとが光学的に接合された検出器モジュールを製造する検出器モジュール製造方法であって、

両面に接着面を有する透明接着シートの一方向の接着面と、前記フォトダイオードアレイとを接着し、

前記フォトダイオードアレイが若干の柔軟性を有する材質で構成される場合、前記透明接着シートの他方の接着面を、前記フォトダイオードアレイの反りにより突出させた状態で、前記シンチレータアレイに接着する、

ことを特徴とする検出器モジュール製造方法。

【請求項 2】

前記他方の接着面に前記シンチレータアレイを接着する際に、該接着面と前記シンチレータアレイが反りにより突出している突出面とを接着することを特徴とする請求項 1 に記載の検出器モジュール製造方法。

【請求項 3】

X 線により発光するシンチレータアレイと、前記シンチレータアレイが発生した光を電気信号に変換するフォトダイオードアレイとが光学的に接合された検出器モジュールを製造する検出器モジュール製造方法であって、

両面に接着面を有する透明接着シートの一方向の接着面と、前記フォトダイオードアレイとを接着し、

前記透明接着シートの他方の接着面に前記シンチレータアレイを接着する際に、該接着面と前記シンチレータアレイが反りにより突出している突出面とを接着する、

ことを特徴とする検出器モジュール製造方法。

【請求項 4】

前記突出面は、前記シンチレータアレイの製造工程により定まる面であることを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の検出器モジュール製造方法。

【請求項 5】

前記突出面は、前記シンチレータアレイの製造工程で、前記シンチレータアレイを複数の区画に分割するために形成された溝に反射材を接着した後に、当該反射材を露出するために切り落とされた面であることを特徴とする請求項 4 に記載の検出器モジュール製造方法。

【請求項 6】

X 線により発光するシンチレータアレイと、前記シンチレータアレイが発生した光を電気信号に変換するフォトダイオードアレイとが光学的に接合された検出器モジュールであって、

前記シンチレータアレイと前記フォトダイオードアレイとは、両面に接着面を有する透明接着シートを介して積層されることを特徴とする検出器モジュール。

【請求項 7】

X 線により発光するシンチレータアレイと、前記シンチレータアレイが発生した光を電気信号に変換するフォトダイオードアレイとが光学的に接合された検出器モジュールが複数配列された検出器と、

前記検出器が出力したデータを用いて医用画像データを生成するコンソール装置と、
を備え、

前記シンチレータアレイと前記フォトダイオードアレイとは、両面に接着面を有する透明接着シートを介して積層されることを特徴とする医用画像診断装置。